

1 基本的事項						
(1) 価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 6 年 7 月 1 日	(6) 路線価	[ 令和 6 年1月]	1,430,000 円 / m <sup>2</sup>
(2) 実地調査日	令和 6 年 6 月 28 日	(5) 価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		足立区千住三丁目70番2					地積 (㎡)	148	法令上の規制等						
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況			商業 (80,400) 防火						
	1:2	店舗兼住宅 RC3	中層店舗ビル、小売店舗等が建ち並ぶ商業地域		北西7.3m区道	水道、ガス、下水	北千住230m			(その他) 地区計画等 駐車場整備地区 (100,400)						
(2) 近隣地域	範囲		東 10m、西 10m、南 10m、北 50m		標準的使用	中層店舗付事務所地										
	標準的画地の形状等		間口 約 7.5m、奥行 約 20m、規模 150㎡程度、形状 長方形													
	地域的特性	特記事項	特にない		街路	7.3m区道	交通施設	北千住駅西方230m		法令規制	商業 (100,400) 地区計画等 駐車場整備地区					
	地域要因の将来予測		宿場町通りに存する商業地域として成熟しており、引続き現況のまま推移するものと予測される。物件の供給が少なく、都内でも人気の高いエリアであり、地価は上昇傾向で推移するものと予測する。													
(3)最も有効使用の判定		中層店舗付事務所地					(4)対象基準地の個別的要因	ない								
(5)鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法	基準価格 2,050,000 円/㎡													
		収益還元法	収益価格 1,380,000 円/㎡													
		原価法	積算価格 / 円/㎡													
		開発法	開発法による価格 / 円/㎡													
(6)市場の特性		同一需給圏は、足立区の内外を問わず、「北千住」駅と同等の繁華性を有する駅近の商業地域。需要者の中心は、豊富な資金力を有する法人や投資家等が見込まれる。かつての宿場町としての賑わいを残し、しばしば各種媒体による露出もあることから、注目度の高いエリアとして積極的な需要が見込まれる。規模の大きい区画にはその利便性から分譲マンション業者の需要も認められる。取引には個別事情が反映するため中心価格帯を見出すのは困難である。														
(7)試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		同一需給圏内の類似地域等において同種の取引事例を収集・採用した。一方、想定される需要者の観点から、店舗・事務所として賃貸想定する収益価格を試算した。繁華性の高い商業地域では、収益・投資目的の取引が中心であり、取引事例価格には収益性が反映されているものと想料される。したがって、本件では基準価格を重視し、収益価格を関連付けて、地価公示標準地及び指定基準地との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。														
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	代表標準地 標準地		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円/㎡)	内 訳	標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 +1.0 0.0 0.0	地 域 要 因	街路 交通 環境 行政 その他	+5.0 +2.0 +90.0 +10.0 0.0		
	公示価格 4,100,000 円/㎡		[107.5] 100	100 [101.0]	100 [223.8]	[100.0] 100	1,950,000		標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地 域 要 因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 0.0 -10.0 0.0 0.0		
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円/㎡)	内 訳	標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地 域 要 因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 0.0 -10.0 0.0 0.0		
	前年指定基準地の価格 1,550,000 円/㎡		[113.5] 100	100 [100.0]	100 [ 90.0]	[100.0] 100	1,950,000		標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地 域 要 因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 0.0 -10.0 0.0 0.0		
(10) 対年 象標 の基 準検 準価 討 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 1,700,000 円/㎡			価 格 変 動 形 成 状 況 要 因 の	(一般的 要因)	景気は、緩やかに回復している。繁華性の高い商業地の需要は引き続き高い状況が継続している。										
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 - 公示価格 円/㎡					(地域 要因)	宿場町通り沿いに存する繁華な商業地域であり、地域要因に大きな変動はみられない。									
	変動率 年間 +14.7 % 半年間 %						(個別的 要因)	個別的要因について特筆することはなく標準的な画地である。同一需給圏内での市場競争力は中位程度。								